

地下鉄短信(第172号) 平成27年1月16日発行

編集 (一社)日本地下鉄協会 責任者 向田正博  
電話 03-5577-5182(代) FAX 03-5577-5187



(QRコード)

- 記事 1.平成27年度環境省予算資料(エコレールラインプロジェクト事業関係)  
2. 国土交通省自動車局配席図 (平成27年1月1日現在)

1. 平成27年度環境省予算資料(エコレールラインプロジェクト事業関係)  
次頁参照

2. 国土交通省自動車局配席図 (平成27年1月1日現在)  
次頁参照

✦ お知らせ ✦

日本地下鉄協会ホームページに新しい資料を追加しました!!

【国の動き】に平成27年度の「国の予算関連」「国土交通省鉄道局、都市局、自動車局関係予算資料」及び「総務省・地方財政対策関連資料」を掲載しました。

(注) 必要に応じ、社内へ転送、回覧などをお願いします。

配信先を変更又は追加した方がよい場合は、新しい配信先の職名、氏名及びメールアドレスをお知らせ下さい。

本短信について、ご意見をお寄せ下さい。

連絡先: mukaida@jmetro.or.jp

エネルギー対策特別会計

(単位：千円)

| 事 項   | 平成26年度<br>予 算 額 | 平成27年度<br>予 算 ( 案 ) 額 | 対 前 年 度<br>比<br>増 △ 減 額 |
|---|-----------------|-----------------------|-------------------------|
| エネルギー需給勘定   | 111,632,252     | 112,482,305           | 850,053                 |
| (項) エネルギー需給構造高度化対策費   | 111,264,389     | 112,041,509           | 777,120                 |
| 温暖化対策に必要な経費   | 111,264,389     | 112,041,509           | 777,120                 |
| 1. 環境と経済の好循環の実現 【資金メカニズムの強化】                                    | 8,212,430       | 8,874,000             | 661,570                 |
| ・ 地域低炭素投資促進ファンド事業   | 4,600,000       | 4,600,000             | 0                       |
| ・ 環境金融の拡大に向けた利子補給事業   | 1,812,430       | 2,224,000             | 411,570                 |
| ・ エコリース促進事業   | 1,800,000       | 1,800,000             | 0                       |
| ・ (新) リースを活用した業務部門省CO2改修加速化モデル事業                                | 0               | 250,000               | 250,000                 |
| 2. 地域経済循環の拡大 【地域主導の都市づくりの推進】<br>～地方自治体の先導的取組への支援等による低炭素技術の社会実装～ | 29,901,895      | 25,982,032            | △ 3,919,863             |
| ・ 先導的「低炭素・循環・自然共生」地域創出事業 (グリーン<br>プラン・パートナーシップ事業)               | 5,300,000       | 5,300,000             | 0                       |
| ・ 公共施設への再生可能エネルギー・先進的設備等導入推進事<br>業                              | 22,000,000      | 19,000,000            | △ 3,000,000             |
| ・ 地熱・地中熱等の利用による低炭素社会推進事業  | 1,600,000       | 1,600,000             | 0                       |
| 3. 健康で心豊かな暮らしの実現<br>～大幅な省エネプログラム (ライフスタイルイノベーション)～              | 5,159,215       | 5,165,959             | 6,744                   |
| ・ 低炭素ライフスタイル構築に向けた診断促進事業  | 320,000         | 110,000               | △ 210,000               |
| ・ 低炭素ライフスタイルイノベーションを展開する評価手法構<br>築事業                            | 250,000         | 200,000               | △ 50,000                |
| ・ 家庭部門における二酸化炭素排出構造詳細把握業務                                       | 199,341         | 199,295               | △ 46                    |
| ・ クレジット制度を活用した地域経済の循環促進事業 (一部農<br>林水産省連携事業)                     | 1,140,881       | 850,000               | △ 290,881               |
| ・ 低炭素社会の構築に向けた国民運動事業  | 1,500,000       | 1,500,000             | 0                       |
| ・ 木材利用推進・省エネ省CO2実証事業 (農林水産省連携事業)                                | 100,000         | 100,000               | 0                       |
| ・ (新) 省CO2型リサイクル高度化設備導入促進事業                                     | 0               | 900,000               | 900,000                 |

(単位：千円)

| 事 項  | 平成26年度<br>予 算 額 | 平成27年度<br>予 算 ( 案 ) 額 | 対 前 年 度<br>比 較<br>増 △ 減 額 |
|--|-----------------|-----------------------|---------------------------|
| 4. ストックとしての国土の価値向上<br>～再生可能エネルギー・省エネルギーインフラを軸とする循環共生型社会の実現～                        | 10,851,882      | 8,934,467             | △ 1,917,415               |
| ・ 廃棄物発電の高度化支援事業  | 101,876         | 217,779               | 115,903                   |
| ・ 低炭素社会の実現に向けた中長期的温室効果ガス排出削減工程検討及びボトルネック解消等調査費                                     | 450,000         | 516,682               | 66,682                    |
| ・ 低炭素化に向けた公共交通利用転換事業（国土交通省連携事業）  | 650,000         | 650,000               | 0                         |
| ・ 低炭素価値向上に向けた社会システム構築支援事業  | 9,400,000       | 7,300,000             | △ 2,100,000               |
| 5-1. あるべき未来を支える技術の開発・普及<br>【革新的な技術イノベーションの推進】<br>～再エネによる自立・分散型低炭素エネルギー社会創出イニシアティブ～ | 11,909,629      | 10,891,108            | △ 1,018,521               |
| ・ 風力発電等に係る環境アセスメント基礎情報整備モデル事業（経済産業省連携事業）   | 1,430,000       | 1,173,000             | △ 257,000                 |
| ・ 洋上風力発電実証事業   | 1,368,841       | 1,771,052             | 402,211                   |
| ・ 木質バイオマスエネルギーを活用したモデル地域づくり推進事業（農林水産省連携事業）   | 1,799,955       | 1,799,955             | 0                         |
| ・ 地域循環型バイオガスシステム構築モデル事業（農林水産省連携事業）   | 800,000         | 800,000               | 0                         |
| ・ 廃棄物エネルギー導入・低炭素化促進事業  | 1,095,187       | 592,191               | △ 502,996                 |
| ・ 潮流発電技術実用化推進事業（経済産業省連携事業）   | 550,000         | 1,000,000             | 450,000                   |
| ・ （新）風力発電等に係る地域主導型の戦略的適地抽出手法の構築事業  | 0               | 157,952               | 157,952                   |
| ・ 自立・分散型低炭素エネルギー社会構築推進事業   | 700,000         | 1,000,000             | 300,000                   |
| ・ 離島の低炭素地域づくり推進事業  | 2,800,000       | 1,352,000             | △ 1,448,000               |
| 5-2. あるべき未来を支える技術の開発・普及<br>～エルテック・ジャパン・イニシアティブの推進を通じた大胆な省エネの実現～                    | 14,814,794      | 16,890,670            | 2,075,876                 |
| ・ 先進対策の効率的実施によるCO2排出量大幅削減事業  | 2,815,216       | 2,800,000             | △ 15,216                  |
| ・ （新）先導的低炭素技術（L2-Tech）推進基盤整備事業   | 0               | 650,000               | 650,000                   |

(単位：千円)

| 事 項  | 平成26年度<br>予 算 額 | 平成27年度<br>予 算 ( 案 ) 額 | 対 前 年 度<br>比 較<br>増 △ 減 額 |
|--|-----------------|-----------------------|---------------------------|
| ・ 経済性を重視したCO2削減対策支援事業                              | 750,000         | 1,650,000             | 900,000                   |
| ・ 先進技術を利用した省エネ型自然冷媒機器普及促進事業（一部国土交通省、経済産業省連携事業）     | 5,046,130       | 6,384,096             | 1,337,966                 |
| ・ 中小トラック運送業者における低炭素化推進事業（国土交通省連携事業）                | 2,965,000       | 2,965,000             | 0                         |
| 5-3. あるべき未来を支える技術の開発・普及<br>～未来のあるべき社会システムのイノベーション～ | 8,976,353       | 13,683,690            | 4,707,337                 |
| ・ CO2排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業                          | 4,800,000       | 6,500,000             | 1,700,000                 |
| ・ (新)再エネ等を活用した水素社会推進事業（一部経済産業省連携事業）                | 0               | 2,650,000             | 2,650,000                 |
| ・ CCSによるカーボンマイナス社会推進事業（一部経済産業省連携事業）                | 1,242,674       | 2,500,000             | 1,257,326                 |
| ・ 未来のあるべき社会・ライフスタイルを創造する技術イノベーション事業（高効率デバイスの開発等）   | 600,000         | 1,500,000             | 900,000                   |
| ・ 水道施設への小水力発電の導入ポテンシャル調査事業（厚生労働省連携事業）              | 0               | 280,000               | 280,000                   |
| 6. 環境外交を通じた22世紀型パラダイムの展開                           | 16,863,010      | 16,583,332            | △ 279,678                 |
| ・ 二国間クレジット制度（JCM）推進のためのMRV等関連する技術高度化事業             | 2,900,000       | 3,430,000             | 530,000                   |
| ・ “一足飛び”型発展の実現に向けた資金支援事業                           | 7,200,000       | 7,200,000             | 0                         |
| ・ 二国間クレジット制度（JCM）基盤整備事業                            | 3,697,000       | 2,710,000             | △ 987,000                 |
| ・ 途上国向け低炭素技術イノベーション創出事業                            | 1,500,000       | 1,500,000             | 0                         |
| ・ アジア地域におけるコベネフィット型環境汚染対策推進事業                      | 630,429         | 750,189               | 119,760                   |
| ・ 循環産業の国際展開に係る海外でのCO2削減に向けた実証支援事業                  | 150,000         | 150,000               | 0                         |
| 7. 低炭素・資源循環・自然共生政策の統合的アプローチ                        | 4,575,181       | 5,036,251             | 461,070                   |
| ・ (新)「低炭素・循環・自然共生」地域創生実現プラン策定事業                    | 0               | 350,000               | 350,000                   |
| ・ (新)持続的な地域創生を推進する人材育成拠点形成モデル事業                    | 0               | 200,000               | 200,000                   |
| ・ エネルギー起源CO2排出削減技術評価・検証事業                          | 4,000,000       | 4,000,000             | 0                         |

(単位：千円)

| 事 項            | 平成26年度<br>予 算 額 | 平成27年度<br>予 算 ( 案 ) 額 | 対 前 年 度<br>比 較<br>増 △ 減 額 |
|----------------|-----------------|-----------------------|---------------------------|
| (項) 事務取扱費      | 357,763         | 430,696               | 72,933                    |
| 事務取扱いに必要な経費    | 175,777         | 248,710               | 72,933                    |
| 温暖化対策に必要な経費    | 181,986         | 181,986               | 0                         |
| (項) 諸支出金       | 100             | 100                   | 0                         |
| 返納金等の払戻しに必要な経費 | 100             | 100                   | 0                         |
| (項) 予備費        | 10,000          | 10,000                | 0                         |
| 予備費            | 10,000          | 10,000                | 0                         |

(単位：千円)

| 事 項                           | 平成26年度<br>予 算 額 | 平成27年度<br>予 算 ( 案 ) 額 | 対 前 年 度<br>比 較<br>増 △ 減 額 |
|-------------------------------|-----------------|-----------------------|---------------------------|
| 電源開発促進勘定                      | 2,329,478       | 2,281,988             | △ 47,490                  |
| (項) 原子力安全規制対策費                | 2,308,875       | 2,255,656             | △ 53,219                  |
| 原子力の安全規制対策に必要な経費              | 2,308,875       | 2,255,656             | △ 53,219                  |
| ・ 放射線の健康影響、被ばく線量評価等に関する調査研究事業 | 1,223,718       | 1,195,746             | △ 27,972                  |
| ・ 住民の個人被ばく線量把握事業              | 663,721         | 465,286               | △ 198,435                 |
| ・ 放射線被ばくによる健康不安対策事業           | 44,021          | 594,393               | 550,372                   |
| (項) 事務取扱費                     | 20,603          | 26,332                | 5,729                     |

## 低炭素価値向上に向けた社会システム構築支援事業

7, 300百万円（9, 400百万円）

地球環境局地球温暖化対策課

### 1. 事業の必要性・概要

公共事業の多面的な展開が想定される中、21世紀型の国際規範となりつつある「低炭素社会」としての付加価値を併せて創出することが必要である。

特に、オリンピック東京大会が開催される2020年は、世界の温室効果ガスの削減目標年でもあり、環境先進国として、世界が注目するこの機会を最大限活用し、都市圏の低炭素化を加速的に進め国内外に発信する意義は極めて大きい。

このため、本事業では、公共性が高い社会システムの整備に当たり、社会基盤の寿命は長いため、今を逃すと長期にわたるCO2排出型システムのロックインが懸念されることから、エネルギー起源CO2の排出が長期にわたり少なくなるような技術等を導入するための事業に対し支援を行う。

### 2. 事業計画（業務内容）

（1）の基本的要件に該当する（2）の分野の事業に対して補助を行う。

#### （1）対象事業の基本的要件

- ① 低炭素化に効果的な規制等対策強化の検討に資する事業
- ② 公益性が高く、資金回収・利益を期待することが困難な事業
- ③ モデル・実証的な性格を有し、他事業への波及効果が大きい事業
- ④ 波及効果も含めたCO2の削減効果の定量化が可能である事業
- ⑤ 日本型の先端技術の戦略的な活用・展開が期待できる事業

#### （2）対象事業の分野

- ① 交通体系の整備に当たっての低炭素価値向上を目的としたモデル・実証事業
- ② 福祉・公共施設等の整備に当たっての低炭素価値向上を目的としたモデル・実証事業
- ③ 次世代型社会インフラの整備に当たっての低炭素価値向上を目的としたモデル・実証事業

### 3. 施策の効果

社会システムの構築に当たっての「低炭素社会」としての付加価値の創出





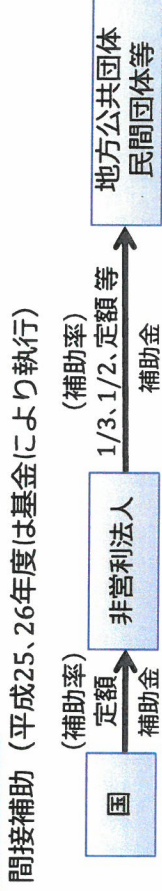
# 低炭素価値向上に向けた社会システム構築支援事業

平成27年度予算(案)額  
7,300百万円 (9,400百万円)

## 背景・目的

- 今後、公共事業の多面的な展開が想定される中、**21世紀型の国際規範**となりつつある「**低炭素社会**」としての付加価値を合わせて創出することが必要。
- **社会システム構築**は公共性が高く**投資回収の考え方に馴染まない**一方で、今を逃すと長期にわたり**CO2大排出型システムのロックイン**が懸念されることから、**低炭素価値向上のため**の**国による財政支援が不可欠**。
- **日本の優れた・尖った技術**を用いることで経済活性化を狙う。

## 事業スキーム



## 事業概要

公共性が高い社会システムの整備に当たり、エネルギー起源二酸化炭素の排出が長期にわたり少なくなるとなるような技術等を導入するための事業に対し支援を行う。

## 期待される効果

- 社会システムの構築に当たっての「低炭素社会」としての付加価値の創出

- 【対象事業の基本的要件】
- ① 低炭素化に効果的な規制等対策強化の検討に資する事業 (規制等対策強化につなげる成果目標を設定)
  - ② 公益性が高く資金回収・利益を期待することが困難な事業
  - ③ モデル・実証的資格を有し、他事業への波及効果が大きい事業
  - ④ 波及効果も含めたCO2削減効果の定量化が可能である事業
  - ⑤ 日本型の先端技術の戦略的な活用・展開が期待できる事業

## イメージ



## 交通体系整備に当たっての低炭素価値向上

- <具体的な事業>
- 物流の低炭素化事業(国交省連携)
  - エコレーンプロジェクト事業(国交省連携)

## 福祉・公共施設等の整備に当たっての低炭素価値向上

- <具体的な事業>
- 地域の再生可能エネルギー等を活用した自立分散型地域づくり事業
  - 地域における街路灯等へのLED照明導入促進事業
  - 省CO2型福祉施設等モデル支援事業(厚労省連携)

## 次世代社会インフラ整備に当たっての低炭素価値向上

- <具体的な事業>
- 省工型データセンター構築事業(総務省連携)
  - 水道システムにおける再エネ・省エネ等導入促進事業(厚労省連携)
  - 地域の未利用資源等を活用した社会システムイノベーション推進事業
  - 漁港の省エネ化実証事業(農水省連携)
  - 低炭素型の融雪設備導入支援事業

環境省ガイドラインに基づき、補助事業の当初段階&終了段階でCO2削減効果を分析・定量化(規制等による対策強化につなげる)